



学校教育目標
自分や相手を大切にし、
考えて行動する名瀬っ子

名瀬小だより

9月号

令和5年8月31日
横浜市立名瀬小学校
校長 中嶋 孝宏



やってみようとする気持ち

校長 中嶋 孝宏

今年の夏は記録的な酷暑となり、連日暑い日が続きました。また、お盆の時期には台風が日本列島を横断し、被害を受けた地域があり交通機関にも影響がでました。世界規模で気候を心配せずにはいられない状況であり、自然災害への準備がより必要と感じる夏となりました。

夏休み前に子どもたちには「夏休みの小さな挑戦」という話をしました。自分が興味をもったことなどに、小さな取組でいいので取り組んでみようという話です。子どもたちがどんな取組にチャレンジしたか聞くのが楽しみです。

陸上選手の田中希実さん(23歳)は、東京オリンピック女子1500mで記録を打ち立てました。準決勝第1組 スタート前の表情はまさに勝負師の顔でした。単なる自信ではなく気迫がみなぎる表情が印象的でした。スタートと同時にトップに躍り出て集団を牽引、そのままペースを落とすことなく走り切り、3分59秒19の日本新記録をたたき出しました。決勝でも3分59秒95で世界8位となりました。4分を切り、世界で戦えることを証明した瞬間でした。

——学生時代に専属コーチを父に任せた。自分を一番知ってくれている人に話した。コロナで大会がなく、練習の成果を確信できず不安の中、モチベーションが下がっていた。その時父は「日本新記録だ!」と伝えた。それを目標に練習を重ねた。——

東京オリンピックで見せた気迫ある表情は、気の遠くなる練習の賜物でした。今年の8月、ハンガリーで行われている陸上世界選手権でも活躍しています。

この強い気持ちと実行力の始まりは、小さい頃の「走るって楽しい」という気持ちと「小さな取組」からだったそうです。名瀬の子どもたちが興味をもち、自分で取り組んだこの夏の小さな挑戦が、これからの学校生活での小さな取組に、そして、後の大きな取組につながるかもしれません。今後の子どもたちの学校生活が楽しみです。地域の皆様、保護者の皆様、引き続きよろしく申し上げます。

